

町道整備

側溝の改修を

年度中に工事予定



もり はるし 議員 森 治史

り換え工事をすべきではないか。

答 森田まぢづくり課長

地区内の町道番下線は全体的に幅員も狭く、日常生活の安全や災害時避難の面からも地区要望でも最優先課題として挙がっていることなどからも必要性は十分承知をしている。有利な補助事業などを検討したが、該当事業もないので、今後は町単独事業の地域整備事業等にて地区とも十分協議の上で対応を図っていく。

答 藤本住民課長

壊れたヒューム管については今年度の地域整備事業で改修計画をしており、実施設計書ができ次第入札を行い、平成28年3月の完成を考えている。

市場改修

活性化へ

荷捌き所改修を

先に岸壁改修を行う

問 田野浦の漁港市場にある荷捌き所建物は、耐用年数が十分に過ぎていることから、

一部を荷揚げ場として残して解体が済まされているが、残された鉄骨の一部は崩壊寸前となっており、荷揚げ用クレーンは鉄骨で補強しての使用、また、岸壁には亀裂が入って海の方に傾いている。漁港の活性化の面からも県、国への助成金への働きかけをし、早急に建て替えが必要ではないか。

答 尾崎海洋森林課長

荷捌き所は昭和29年度建設。その後、昭和46年、50年、57年の3回増改築をしている。県漁協の固定資産台帳(耐用年数28年)では平成22年度で減価償却が終了し、すでに5年を経過しており、早急に

建替えすべく、県漁協と再三協議を重ねてきたが、県漁協が財政再建計画中でこれまで先延ばしになっていた。昨年度より具体的な施設変更の協議が進んでいるが、建て替える荷捌き所の基礎が海側に傾いている岸壁にかかるので、先に岸壁改修計画を漁港管理者の高知県に要望し、今秋に事前協議が完了、平成28年度に水産庁への事業計画を提出、平成29年度から着手す

定。その年度での測量設計を含む3年間の事業を予定しているが、国の事業費配分により実施年度の変動がある。総事業費1億円で事業主体は高知県となり、事業費の負担金は町が10%、県漁協2%となる。また、亀裂については県へアスファルトレミで間隙を潰す要望をし、早急に対応するとの回答を幡多土木事務所から得ている。



2015.11.24 11:29
田野浦漁港の市場の現状